

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
もくの木たいせつ		令和7年3月31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	療育スペースに必要な物だけを置くようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	利用人数やこどもの状態等に応じて、職員を多めに配置するようにしている。	職員の人数が足りていないと感じる事が多くある為、職員の確保と定着に努めたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	一日のスケジュール等を視覚化している。	転倒等の防止の為、カーペットに不備があった際は取り換え等を行っていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		掃除等を毎日実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別の部屋は無いが、療育スペース以外の部屋等を活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	4		これまではシフト等の兼ね合いから少人数でのやり取りが多かった為、今後は定期的にミーティングを開催していききたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	保護者向けの事業所評価は実施している。	集計結果を基に、業務改善へ繋げたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	職員から意見を聴く機会を適時設けている。	職員の意見等を把握できていない場合がある為、ミーティングを定期開催するなど、意見交換をする機会を増やしていききたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		外部評価については実施できていない為、今後実施していききたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	各職員の希望等に応じて、各団体で開催している研修等へ参加する機会を設けており、事業所内でも研修を開催している。	職員の資質向上を図る為、各研修を受講する機会を増やしていききたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		現時点では公表できていないが、令和6年度中の公開を予定している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	2		ニーズや課題を定期的に確認し、支援計画を作成していききたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2		担当職員等と十分に擦り合わせた上で、支援計画を作成していききたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2		支援内容について、職員間で確認し合いながら支援していききたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	職員間で適時共有している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2		保育園等への訪問回数を増やしていききたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	適時話し合う機会を設けている。	個人で考えたものを共有する事が多い。今後は定期的にミーティングを開催するなど、話し合う機会を増やしていききたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		年間スケジュールを組む事で様々なプログラムを提供している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	1	4		集団活動が主である為、こどもの状況に応じて個別活動を組み合わせしていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	4	打合せという形式では無いが、適時確認し合っている。	定期的にミーティング等を開催し、チーム連携を図っていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	打合せという形式では無いが、適時共有し合っている。	定期的にミーティング等を開催し、情報共有等を図っていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	3		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて支援計画の見直しを行ってきたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	基本的には児発管が出席している。	こどもの状況等への理解を深めていきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	担当者会議への出席など、関係機関との連携を図っている。	事業所として出来る事を模索してきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	送迎時等で情報共有を行っている。	送迎時以外でも情報共有の機会を設けていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		基本的には保護者から共有して頂いている為、今後は先生方とも共有してきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	4		地域の児童発達支援センターとの関わりはあまり無い為、今後はセンターとの連携も図ってきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		現在は事業所内での活動が主となっている為、今後は地域の中で他のこどもと活動する機会等も設けていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳、公式LINE、電話連絡、口頭などで共通理解を図っている。	理解を深めていきたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	保護者会等にて情報提供の機会を設けている。	家族等で参加できる研修等の機会を設ける事で、ペアレント・トレーニングに取り組んでいきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			こどもの最善の利益について充分に擦り合わせた上で、支援計画を作成していきたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	1		丁寧な説明を心掛けたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	3	保護者会や送迎時等で話を伺う機会を設けている。	参観日や研修会を開催するなど、話を伺う機会を増やしていきたい。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者会を開催している。	家族で参加できるイベント等を計画していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や申し入れについては、連絡帳、公式LINE、電話連絡、口頭などで常時受け付けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月に1回、おたよりを発行している。	今後はSNSも活用していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		視覚、聴覚両方のツールを使用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	地域に向く事がある。	今後は招待する機会も設けていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		家族等への周知が不十分な為、保護者会などを活用し、説明させて頂く場を設けていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	利用開始前に保護者から調査票を提出して頂き、自宅で口にされている物についても伺っている。	お菓子提供では調査票に基づき対応しているが、指示書の提出についてもお願ひしていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	3		安全管理に必要な研修や訓練等を定期的に実施していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		家族等への周知が不十分な為、保護者会などを活用し、説明させて頂く場を設けていきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2	ヒヤリハットが発生した際は、事業所内で共有し再発防止に向け協議している。	定期的にミーティング等を開催し、情報共有や協議等の機会を増やしていきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2		現在は身体拘束に繋がるような事例は無いが、必要に応じて適切に対応していきたい。